

使用した辞書類: Jisho.org: Japanese Dictionary <http://jisho.org/> imiwa

行番号	読んだ素材		協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
	ページ	文章	発話	日本語訳		
1		週三回のコンパニオンのアルバイトにも慣れ、欲が出てきた。	Eeehm, Pues empiezo y, bueno, normalmente intento- si sé la lectura en japonés pues, por ejemplo aquí [「週三回」を指す], no sé si es la lectura correcta pero pienso, ¡Ah! ¡shiyuさんかい [日本語で発話する].	えー、では始めますが、まあ、普通はなるべく読み方は分かるんですが、例えばこの「週三回」を指すんですが、正しく読めるかどうか、でもたぶん、あっ、「週三回」。		
2					音読しなくてもいいですよ。義務付けられていません。	
3			No no ya, pero.	はい、そうですね。		
4					でもそのほうが理解の助けになるのだったら、どうぞ自分の読みやすいようにしてください。	
5			Si, normalmente lo intento.	はい、普段はなるべく。		
6					発音する。	
7			Pensar en jap- Si, lo leo, como en japonés. Pero pensando en el significado que son tres veces por semana, eeeh コンパニオンのアルバイト [日本語で発話する], el trabajo de アルバイトにも [日本語で発話する] y este kanji [「慣れる」を指す] no sé cuál es. Así que.	日本語で考えるので、はい、日本語で読むことにします。でも意味を考えながら、つまり週に3回という事で、えー、「コンパニオンのアルバイト」、仕事で「アルバイトにも」、この漢字[「慣れる」を指す]は何でしたっけ、それで、		
8					あー。	
9			En este caso, si no puedo buscar al diccionario, o estoy leyendo por encima, lo saltaría, ehm, y lo que me da [日本語で発話する].	このような場合、辞書を引けない場合、あるいはざっと見て、飛ばしたり、えー、その「が」でできた。		[辞書を見ている]
10					これは何でしょうか。[聞き取り不能]電池を交換してください。あっ、バッテリーが切れています。	
11			Pero puedo buscar en 電子辞書 [日本語で発話する] por radicales, también. Ah bueno no, pero tengo que usar el ordenador entonces.	でも「電子辞書」を使って部首検索でも調べられます。あ、まあ、でもそうするとパソコンを使わなければなりません。		
12					そうですね、もし必要であればパソコンを使えますよ。	
13			Ah.	あー。		
14					はい、はい、はい、こちら。	
15			Si no, también puedo buscar en el móvil.	そうですね、携帯を使って調べることもできます。		
16					どちらでも、やりやすい方でどうぞ。パソコンの辞書も開けてありますよ。	
17			Si.	はい。		
18					あ、見てください。辞書は開いています。もし使いたければ、こちら開べられると、どこでしたっけ、グーグルからですか。	
19			Si, pues voy aquí [Jisho.orgを開いて「部首」の選択辞書を指す] por radicales. También podría y por dibujar, pero este kanji me parece un poco difícil, seguramente no lo va a entender. Entonces, tres, y busco este radical [「」を指して、選択する], y entonces, tres, quatre, cinco, six, set, huit, nou, deu, onze, dotze, tretze, catorze, quinze. Quince. Y voy a quinze a ver si hay suerte. [15画の漢字を見る] No, lo habré contado mal.	はい、それではこちら [Jisho.orgを開いて、「部首」の選択辞書を指す] もう一つの方法は手書きでもできますが、この漢字は少し難しそうで、たぶん正しく書けないかもしれません。それでは、3画、この部首で調べます。[「」を指して、選択する] それでは、3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 15画です。15画で見えます。うまいくらいですが、[15画の漢字を見る]ありません。数え間違えたかもしれません。		数え間違えましたか、前後の画数でみてみたらどうですか。
20						
21			Aquí.	ここです。		
22					あ、ありましたね。	
23			Si, y busco, naler [日本語で発話する] Ah! [Ri e] Vale, vale. Y luego hay otro kanji que no sé exactamente pero básicamente ella dice que se ha acostumbrado al trabajo de コンパニオン [日本語で発話する] y luego algo de [日本語で発話する], pasó algo. De momento lo dejo así, aunque no entienda.	はい、見てみます。「慣れる」。あっ、[笑う]そうか、そうか。次にも漢字があるんですが正確な意味がわかりません。でも基本的な意味は「コンパニオンの仕事に慣れた」ということで、その後何か「が」でできた、何かが起こったわけですね。とりあえず、このままにしておきます。わからないままですが、		
24					この文はどんな意味ですか、わかりますか。	
25			Eeeh. No entiendo el primer kanji.	えー、最初の漢字がわかりません。		
26					あ、あ、わからなくても、おおよその意味は捉えられますか、それとも調べますか、どうしますか。	
27			Normalmente intento seguir leyendo, a ver si me da una pista de lo que ha pasado.	普段いつもは読み続けます。もしかしら、後から何かヒントが出てくるともかもしれません。		
28					あ、そうですね。では続けましょう。	
29			A ver, y si no, pues luego vuelvo y busco mejor cada palabra. Pero de [日本語で発話する] significa que algo se acabó, o que algo salió.	まあ、もしダメだったら、後で戻ってその単語を調べます。でも「で」の意味は何かが終わったか、何かが出てきたかだと思います。		
30					うーん。	
31					うーん。	
32		六月に入って、もうひとつ新しいアルバイトを始めることにした。	ろくがつにはいってもうひとつあたらしいアルバイトをはじめるのした [日本語で発話する] Entonces, en junio, cuando empecé junio, [日本語で発話する], otro ehm, あたらしいアルバイト [日本語で発話する], un trabajo nuevo, [日本語で発話する] empecé. Empecé un trabajo- un [日本語で発話する] nuevo.	「六月」に入ってもうひとつ新しいアルバイトを始めるのした。それで、6月に、6月が始まったときに、「[日本語で発話する]」、新しい仕事、「」を始めた。		
33			Empecé un trabajo- un [日本語で発話する] nuevo. Entonces, leyendo esto, supongo que la frase de antes es que a lo mejor dejó su trabajo de [日本語で発話する] de [日本語で発話する], tal vez. O pasó algo.	新しい仕事である「アルバイト」を始めた。そして、これを読んでいると、前の文はもしかしたら「コンパニオン」の「アル」の仕事をやめたということかも知れません。あるいは何かが起こったか。		
34					この言葉は「慣」を指す？	
35			Si, es- es acostumbrarse.	はい、それは慣れるという意味です。		
36					はい。	
37			Entonces, es un poco contradictorio, pero.	そうすると、ちょっと矛盾していますね。でも、		

38				何か出てきたのですね。	
39			Si, o tal vez, la llamaban menos o, por algún motivo decidió -¡Ah! O sea había acostumbrado ya a ese trabajo y tenía suficiente tiempo para empezar otro, ¿no? También.	はい、あるいはもししたら、呼ばれたか、何かしらの理由で決めた。あ、つまりこの仕事に慣れてきて、他の仕事を始める時間ができた、でしょうか。	
40		管理と言う事で、ホームの売店の売り子をやるのだ。	Entonces, empezó otro y, mmm, un kanji [「管理」を指す] que no conozco todavía [日本語で発音する]。O sea, en la estación de algo. Habría que buscarlo, el -m [日本語で発音する] plataforma, el [日本語で発音する] mmm, bueno, tiendas, Las tiendas de la plataforma de la, del andén.	それで、他の仕事を始めた。そして、うーん、この漢字「管理」を指す]は知りません、「という事で」、つまり、どこかの駅ですね。調べないといけません、が、「ホーム」はプラットフォームのこと。「の、うーん、まあ、店、プラットフォームにある店のこと。」	
41			の [日本語で発音する] eh うりこをやるのだ [日本語で発音する]。No lo sé exactamente, pero como es vender y, o [日本語で発音する] supongo que será o la dependienta de la tienda de - bueno, las tiendas que son como, pequeños quioscos.	「のえー「売り子をやるとのこと、よわからなくて、販売員かなにかで、「こたふん」って店の店員が何かで、まあ、お店というのは、小さなキオスクのような店ですよ。」	
42			Bueno, son muy pequeñas porque están en la- en el andén. Y -O lo a lo mejor es una chica que está haciendo promoción y diciendo a los clientes: venid, venid, comprad esto, descuento, o así.	それで、それらはホームにあるのでとても小さいです。もししたらその女性はお客さんにいらしゃい、いらしゃい、お買い求めください、安いですよとあってプロモーションをしているのかもかもしれません。	
43					うーん。
44			Vale.	はい。	
45		だいたい週五回のペースで、シフトを入れてもらった。	Luego, dái tai [日本語で発音する] normalmente, eh, [日本語で発音する]。Vale. Tres- Cinco veces por semana el -ペースで, -ペース [日本語で発音する]。O sea, Ah, vale, "Pace" [英語で発音する]。O sea, a un ritmo de "tres- cinco veces por semana, eh, シフトをはいれもらった [日本語で発音する]。	それで、「だいたい、普通は、えー、「週五回」、わがりました。週5回から週「のペースで、」つまり、あ、わかりました。Pace [英語で発音する]、英語のペースだとわかる]つまり、週に3回から5回のリズムで、えーシフトをはいれもらった	
46			Que la llamaban, porque - ちらった [日本語で発音する]、 entonces recibía el encargo, bueno, recibía los turnos - un turno cinco veces por semana. Más o menos.	彼女が呼ばれたというのは、「ちらった」とあるので、それでこの役を引き受けて、まあ、週5回のシフトを引き受けました。大体ですが。	
47		わたしの当番は前六時から十一時までの五時間で、仕事を教えてくれるおぼさんは、腰が悪くなったためわたしを教育したらすぐに辞めるといった。	Mm,わたしのほんばんは、ほんばん [日本語で発音する]。 Ahora mismo, uy.	うーん。「わたしのほんばんは、ほんばん」、今すぐ、うっ。	
48			Que, eh, tres. Bueno, tres- hace tres, bueno. Hace el アルバイト [日本語で発音する] de コンパニオン [日本語で発音する] tres veces por semana se había acostumbrado a hacer el アルバイト [日本語で発音する] de コンパニオン [日本語で発音する] tres veces por semana. Bueno, se había acostumbrado, le [日本語で発音する] coma, y luego pasó algo, que le hizo empezar un nuevo trabajo. Es que esta kanji [「教」を指す] me suena mucho y sé que cuando lo busque diré, aah claro!	それは、えー、3、まあ、3、つまりです。「コンパニオン」の「アルバイト」を週3回やって、この週3回の「コンパニオン」の「アルバイト」に慣れてきました。まあ、慣れたので、「れ」向島、その後向島が聞こえた、新しい仕事を始めた。この漢字「教」を指す]は見覚えがあるのですが、調べてすぐ思い出すと思います。あー、そうです。	
49			Si, Eh, bueno, esto, que la llamaban para hacer turnos cinco veces por semana. Eh - ues, ちらった [日本語で発音する]。 Vale, digo, Yo のほんばん [日本語で発音する]、 que no sé exactamente, pero no - bueno, digo intendo para saber, あらうから [日本語で発音する]、 desde las seis de la mañana, [日本語で発音する]、 hasta las once de la mañana, entiendo, のことかんて [日本語で発音する]。 O sea, estas cinco horas, [日本語で発音する]。 [3秒間沈黙] Es ahí [日本語で発音する]。	はい、えー、まあ、これは、週5回のシフトをやることが呼ばれました。その「ペース、ちらった」わがりました。続けます。私は「のほんばん」、これはわかりませんが、でもまあ、もう少しわかるようになるために調べます。「第六時」から、朝の時から、「十一時まで」、11時まで、午前中、と理解しますが、つまり、この5時間、「仕事を」、[3秒間沈黙]これは「教える」	
50					うーん。
51			おしえてくれるおぼさんは [日本語で発音する]。 Una señora, ¿A ver? En estas cinco horas, había una señora - bueno, una señora me enseñaba el trabajo. Eh, m, おぼさん [日本語で発音する]。 Un kanji [「腰」を指す] がわかって、わんく [日本語で発音する]、 [4秒間沈黙] わんく [日本語で発音する]、 [4秒間沈黙] わんく [日本語で発音する]、 [4秒間沈黙] [日本語で発音する]。 [4秒間沈黙] [日本語で発音する]。 [4秒間沈黙] [日本語で発音する]。 Uyy! Ay, perdón.	「教えてくれるおぼさんは」ある婦人、どういうことかな？この5時間で、一人の婦人がいた。まあ、ある婦人が私に仕事を教えてくれました。えー、「おぼさん」と、この漢字「腰」を指す]。「が腰が痛くなったため、」[4秒間沈黙]「悪くなったため、わたしを」、えー、その、教育、[したが]「う、うっ、すみません。」	
52					こちらに座ったらどうですか。 [座りやすい点を指示する]
53			Si, Vale, esta es una frase muy larga y no sé exactamente ahora cual es el- lo que está pasando. Entonces, normalmente intento leerla entera para saber como termina y donde está el.	はい、そうです。これはすごく長い文で、何が、今起こっているのかわかりません。そう、うん、いつもはど終りのわかるために全部読むようにしていますが、どこで止った、その。	
54					どこまででしたっけ？ [笑う]
55			Si, vale. Mhm, さんは [日本語で発音する] Este kanji [「腰」を指す]、 わんく [日本語で発音する]、 Eh, algo para, para - para no hacerlo mal, para no hacer algo mal, わたしを [日本語で発音する] eh, enseñarme a mí, me ensaña a mí, [日本語で発音する]。 Mmm mmm, めるといことだ [日本語で発音する]。	はい、そう、うーん、「さんは」、この漢字「腰」を指す]「悪くなったため」、えー、何か、悪くないために、何か悪いことをしようと、「わたしを」、えー、私に教える。私に教える、「したが」に、うーん、「あるということだ。」	
56			Vale, voy a buscar un par de palabras en el diccionario, porque si no, es muy difícil de entender. [Jisho.orgを開ける] Mmm d donde está el [部首の「舌」] をさがす間 [10秒間沈黙] [漢字の「舌」をさがす]。 Vale, He buscado por radicales, y, [辞書の語義を読む]： Ah! やめる [日本語で発音する]。 Aah! Vale vale vale vale.	はい、それでは二つほどの単語を辞書で調べることになります。というのは、そうしないと意味をつなげるのに難しいからです。[Jisho.orgを開ける]うーん、どこでしょうか。[部首の「舌」] をさがす間 [10秒間沈黙] [漢字の「舌」をさがす] 間 [10秒間沈黙] はい、部首から調べました。そして、[辞書の語義を読む] あっ、「辞める」、あああ、そうか、そうか、それが、わかりました。	
57					いいですか。
58			Si. Con esta ya viene más sentido. [笑う] Toda la frase, la señora le enseñaba a hacer el trabajo.	はい、これで意味がわかります。[笑う] 文全体が、その婦人は仕事のやり方を教えました。	
59					でも、戻りますか。
60			Ay, sí. [PDFを開けて本文を読む]。 Vale, わたしのほんばん [日本語で発音する]、 su, Bueno, ほんばん [日本語で発音する]、 no he buscado exactamente pero imagino que será como su turno, su trabajo, su parte, es de las seis de la mañana a las once. Y durante estas cinco horas, una señora le enseñaba el trabajo. Porque si, [5秒間沈黙] [日本語で発音する]、 si le enseñaba el trabajo y a ella no se le da mal, lo hace bien, la señora podrá retirarse enseñada. Bueno, podrá dejar su trabajo enseñada.	あ、はい。[PDFを開けて本文を読む] はい、「わたしのほんばん」、その人の、その、「ほんばん」調べてはなんですが、教えるにその人のためのこと、仕事、担当のことで、朝の6時から11時までの、そしてこの6時間の間、婦人は彼女に仕事を教えました。女はそれでは、[5秒間沈黙] [したが]、もし仕事を教えたら、そして彼女が分かって、よければ、婦人はすぐに辞めることができます。つまり、彼女の任務から退くことができます。	
61		二のおぼさんは、よくしゃべる。	Entonces, 二のおぼさんは [日本語で発音する]、 esta señora, よくしゃべる [日本語で発音する]、 habla mucho.	そして、「二のおぼさんは」、この婦人は、「よくしゃべる」、よく話します。	
62		わたしたちはひたすら相槌を打ち、質問し、納得し、退席する。	わたしたち [日本語で発音する]、 yo, ひたすら [日本語で発音する]、 mmm mmm mmm, kanjis que me suenan pero no reconozco, y el ひたすら [日本語で発音する] tampoco. しつもんし [日本語で発音する]。	「わたしたち、私は、「ひたすら」、うーん、見覚えのある漢字なんですけれど、認識できません、そして二の「ひたすら」もわかりません、「質問し」。	

63		Vale, aquí hay muchos kanjis que no conozco. Pero como hay el de じつもんん [日本語で発話する] y es una lista, porque hay mmm [日本語で発話する]. mmm [日本語で発話する]. me imagino que, [3秒間沈黙] se refiere a lo que hace la señora - la forma de hablar de la señora, que, por ejemplo le hace preguntas o le responde las preguntas y aunque, [5秒間沈黙]たち [日本語で発話する]. Sí. Algo así, sería.	そうか、ここには知らない漢字がたくさんあります。でもこの「質問」があるし、リストかなんかかな。なぜなら「質問」があるし、うんぬんがあるからで推測するのですが、[3秒間沈黙]つまり婦人がすることに対して、その話し方というか、たとえば質問したり、それに答えたり、たとえば、[5秒間沈黙]「たち」、はい、こんな感じではと思います。		
64		Bueno, si no, voy buscando las palabras, pero como son unas cuantas, de momento sigo y seré a- O sea, esto es como yo lo leería.	まあ、そうですね、単語を調べますが、いくつかあるので、今のところは続けていこうかと。まあ、こういうやり方でも読んでいるので。		
65		Si hay muchas que no conozco las voy dejando, más o menos entiendo el significado general, y luego cuando voy a traducir, voy buscando ya todas las palabras una por una.	知らないのはそのままにして、全体の意味は大体わかりますので、翻訳する時は一つ一つ全ての単語を調べます。		
66	一人だとこんなにのんびりできないからね。今のうちにちゃんと仕事覚えてね。とロヤかましく二回は言われる。	Entonces, ひとりだと、とこんなに、こののん [日本語で発話する], mucho hiragana. ひとりだとこんなに [日本語で発話する].	そうすると、「一人だと、とこんなに、こののん」、ひらがながたくさん、「一人だとこんなに」。		
67		Ah, vale, こんなに [日本語で発話する]. así, のんびりできないからね [日本語で発話する]. Vale. Si es, Si estuviera sola así no podría, いまの [日本語で発話する]. Vale. Sigue leyendo, porque es un [日本語で発話する]. entonces sigue.	あっ、そうか、「こんなに」、そのように、「のんびりできないからね」、わかりました。もしそれが、もし一人だったら、このようににはできない。「今の」、わかっています。読み続けて、というのはこの「から」があるので、では続けます。		
68		いまのうちにちよつとことおぼえてね [日本語で発話する]. En tu casa de ahora el こと [日本語で発話する]. Eso [「覚」を指す] es? No, no es recorder. No. Este kanji, voy a buscarlo, porque creo que es un poco importante para entender la frase. [Jisho.orgを開ける] Cinc, sis, set. Bueno, los kanjis no son mi punto fuerte, como se puede notar.	今のうちにちよつと仕事覚えてね、今のあなたの家で、その「仕事」、これ「覚」を指すはこれ覚えるではありませんか、いや、違いますね。この漢字、調べます。なぜなら文を理解していくのに重要なので、[Jisho.orgを開ける]5, 6, 7, はい、漢字は得意ではないので、見ればわかりますよね。		
69		[朗音の「見」を選択したあと、漢字「覚」を探る] Ah, sí, sí. Es, おぼえる [日本語で発話する]. Vale. Ya lo había entendido bien. Vale, sí sí. Es, おぼえる [日本語で発話する]. Vale. したこと [日本語で発話する]. Vale. En la casa recuerdo un poco- AY, perdón, perdón. [PDFの本文を開ける]	[朗音の「見」を選択したあと、漢字「覚」を探る] あ、はい、はい。「覚える」でした。わかりました。「仕事」は、家で少しおぼえます。あっ、すみません、すみません。[PDFの本文を開ける]		
70					大丈夫ですよ。
71		Vale, en la casa- en tu casa acurdate un poco del trabajo, と、ちよつとやましく [日本語で発話する]. Vale. O sea, ella me decía, de una forma concreta que no sé exactamente cual es, pero el ちよつと [日本語で発話する]. Eehn, unas dos veces al día ella me decía, acurdate del trabajo- bueno, acurdate del trabajo en casa y, ひとりだこんなの、のんびりできないからね [日本語で発話する].	はい、家で、あなたの家で仕事を少し覚えておきなさい。「と、ちよつとやましく」に二回は言われる。「はい」、つまり、彼女は私に言いました。どんな方はわかりませんが、特別な言い方で、でも自分の家で仕事のことを覚えるようにというようにことを言ったのだと思います。このような理由で早く引退したいと思って、時々早く覚えて欲しいと思っています。あっ、時々「主人公知舞のおぼの名」ではなくて知舞「小説の主人公の名」です。		
72		Voy a buscar のんびり [日本語で発話する], pero básicamente entiendo que la señora le decía [Jisho.orgを開けて「のんびり」を探る] que si estuviera sola, no podría estar tan tranquila, y que, y que en su casa pues intenta acordarse un poco del trabajo supongo que por el sentido este de que quiere retirarse rápido y por lo tanto quiere que Ginko [主人公知舞のおぼの名] aprenda. Ay Ginko, Chizu [小説の主人公の名].	「のんびり」を辞書で調べます。でも大体の意味はわかります。この婦人が言っているのは、[Jisho.orgを開けて「のんびり」を探る]。もし一人だったら、のんびりしてられない。そして、その自分の家で仕事のことを覚えるようにというようにことを言ったのだと思います。このような理由で早く引退したいと思って、時々早く覚えて欲しいと思っています。あっ、時々「主人公知舞のおぼの名」ではなくて知舞「小説の主人公の名」です。		
73					知舞ですよ。覚えておきましょう。
74		Sí.	はい。		
75	わたしは、自分がどこに住んでいるかも、なぜこの仕事を始めたのかも、話さなかった。	Entonces, わたしは [日本語で発話する]. Chizu, じぶんがどこに住んでいる [日本語で発話する]. Ah, vale, じぶんがどこに住んでいる [日本語で発話する], donde vivía. Yなぜこのことをはじめた [日本語で発話する], por qué había empezado este trabajo, はない、はないなかった [日本語で発話する]. O sea, yo no hablaba, creo, はないなかった [日本語で発話する]. Yo no hablaba de donde viví a mí de donde, ni de porqué había empezado a trabajar allí.	それで、「わたしは」、知舞「自分がどこに住んでいる」、あ、そうか、わかりました。「自分がどこに住んでいる」、どこに住んでいるか、そしてなぜこの仕事を始めたか、どうしてこの仕事を始めたのか。「話」、話さなかった。つまり、私は、話さなかった。話さなかった。「話さなかった」。私はどこに住んでいるかも、どうしてこの仕事を始めたのかも話さなかった。		
76					うーん。
77	そんな話をするより、早く仕事を覚えて一人になったかった。	そんな話をするより [日本語で発話する]. ah, más que hacer eso- más que hablar de eso. Eh, rápido, はやいことをおぼえてひとりになったかった [日本語で発話する]. Ah, más que hablar de todo este- de todo esta, bueno, small talk, de esta, prefería aprender el trabajo rápido y pasar a estar sola haciendo el trabajo.	「そんな話をするより」、あっ、するよりも、この、そういうことを話すより、早く、早く「早く仕事を覚えて一人になったかった」。あ、そんなことを話さずとも、このようなことを、まあ、おしゃべり、このような、それよりも早く仕事を覚えて、一人で仕事ができるようになったかったです。		
78					うーん。
79		Entonces, vale, cambio.	それでは、はい、変えます [次の文]。		
80	早起きは苦だった。が、慣れた。	Nueva idea, はやおき [日本語で発話する]. bueno, no sé si se lee así pero levantarse temprano. Este kanji [「苦」を指す] no lo conozco pero, me parece que es algo más. Me suena. [笑う] Bueno, vamos a dejarlo por un momento.	新しい考え、「早起き」、その、この読むのかがどうかわかりませんが、早く起きます。この漢字「苦」を指すは知りませんが、何か悪いことだと思います。それが何かあるような気がします。[笑う]まあ、今のところのままにしておきます。		
81					これ「苦」を指すですね。
82		Sí exacto, es que tengo muchos kanjis que me suenan y cuando los busco digo, ¡ah, claro, sí! Pero cuando los veo en un texto me cuesta ubicarlos. Vale, entonces, pero, y vuelve a ser el de, Pero me había acostumbrado.	はい、その通りです、というのはいろんな漢字に見覚えはあるんです。それで聞くと、あっ、そうだったとなるんです。はい、でも文の中だとはつきりしないというか、わかりました。それでは、でも、やっぱり前のように、読んでいきます。まあ、慣れてしまっているんで。		
83		Entonces, será que levantarse pronto no le gustaba o era un palo o, No es, ねんどくさい [日本語で発話する]. así que no es la cosa pereza, pero que no, no le gustaba pero se estaba acost- se había acostumbrado. O se estaba acostumbrado.	それでは、早起きは好きではなかったか、苦手か、「ねんどくさい」ではない、面倒ではない、でも、ちがう、好きではないが慣れてはいなかった。あるいは慣れてきた。		
84					うーん。
85	夏は朝がいい。	Ehm, En verano, las mañanas están bien.	えー、夏は、朝はいい。		
86	家を出る五時半の空はもう明るく、空気が軽い。	Entonces, いろいろとごじはんの [日本語で発話する]. ¿eso [「空」を指す] es aire? ¿Cielo? ¿Cielo [日本語で発話する]. El aire, o cielo, ahora mismo no me acuerdo. No- Es cielo, ¿no? Sí, porque es el de ちよつと [日本語で発話する].	そうすると、「家を出る五時半の」、これ「空」を指すは「空」ですか。空ですか。はい、はい、空、それとも空、今どちらだったか覚えていません。違うかな。空ですか？はい、なぜなら、「飛行機」がありますから。		
87		Sí, vale. El cielo, de los cinco de la mañana cuando salía de casa, もうあかる [日本語で発話する]. ¿eso [「空」を指す] es aire? ¿Cielo? ¿Cielo [日本語で発話する]. y, mmm, Este, もうあかる [日本語で発話する].	はい、そうです。空、家を出る朝5時、「もう明るく」、その時はもう暗いでした。つまり、もう、太陽が出ている「もう明るく」。そして、うーん、これは、いやちがう。これは「空」。		
88		この [日本語で発話する]. el aire. Ah, este kanji [「軽」を指す]. ¿Aunque es fino? ¿Que es fino? No. No es, ¿puede ser atáctail [日本語で発話する]? Aaaa, En todo caso, siempre estoy pensando este kanji, lo sé, sé que lo sé. Sé que lo he estudiado. Pero no me sale.	「空」、空気です。あっ、この漢字「軽」を指す、「軽」が知らないけれど、何ですか。軽いですか、いや、違う。違いますよ。あなたたいですか、あー、まあ、あー、いつも漢字を考えています。知っているんですけど、知っているってことはわかるんです。勉強したことは覚えているんですが、何だったか思い浮かびません。		
89					何でしたっけね？コンセプトも覚えていません。そうですね、何かこう。

90		No, pero es algo positivo, porque dice que le gusta, por lo tanto. Será, que el aire. Bueno, como es el aire, pues que es. Cálido supongo, por el contexto, o - o al revés, puede ser que es como fresco pero agradable. O algo así. O que no es muy pesado, que aún no está como cargado, ¿no? Es que me suena como... すごい [日本語で発話する], pero no, no es すごい [日本語で発話する].	いいえ、でも何か肯定的なことですよ。なぜなら好きだと言っていますから。というよりは、まあ、空気のようなのかな。だからその、暖かいとは思いますが、文脈からすれば、あるいは反対かな。涼しいということも考えられる。でも肯定的な意味で、そんな感じでしょうか。あるいはあまり重くないの、重くない感じが、でしょうか。「すごい」というような漢字が入りますが、「すごい」ではないですね。		
91	電車を待つ人はほとんどいなかった。	Ehm, ほとんどをまつひ [日本語で発話する]。Si, まつひとはほとんどいなかった [日本語で発話する]。Vale, o sea casi nunca. Bueno, normalmente, en general no había personas esperando el tren.	えー、「電車を待つひ」は「待つ、待つ人はほとんどいなかった」、わかりました。つまりほとんどいなかった。まあ、普通、電車を待つ人はいませんでした。		
92	私は口笛を吹きながら、跳ねるような足取りでホームの端まで歩いていく。	わたしは [日本語で発話する] mmm, を、し、いきながら [日本語で発話する]。Vale. Aquí hay un par de kanjis que no. Sobretudo el de después de la coma [「跳」を指す].	わたしは「うーん」「を、し、いきながら」。はい、ここに二つほどわからない漢字が、特にあとに来る漢字「跳」を指すんですが。		
93		わたしは [日本語で発話する]。Esto [「口笛」を指す] lleva el kanji de boca por lo cual supongo que es alguna de las puertas. Y el de después [「吹」を指す]。[5秒間沈黙] Me suena que es el de saber, pero no es el de saber. Es otro. [笑う]	わたしは、これ「口笛」を指すは口の漢字があるの、何か「口」とか入りりとかでしょうか。その後に「吹」を指すがある。[5秒間沈黙] 知るというのに似ていると思うのですが、でも知るではありません。他の漢字です。[笑う]		
94		しきながら [日本語で発話する]。Bueno, mientras algo en la puerta, por lo tanto supongo que es mientras hacia cola en la - en las puertas del metro. Algo [日本語で発話する]。¡Ah! Algo [日本語で発話する]。mmm [日本語で発話する]。Este kanji [「端」を指す] no lo había visto nunca.	「しきながら」。まあ、ドアのところを何かしている間に、地下鉄のドアのところを列を作っている間に、というようなことではないかと推察するのですが、何か「ね」。あっ、何か「ねる」ような「うーん」「りて」ホームの。この漢字「端」を指すは見ただことがありません。		
95		まであるいていく [日本語で発話する]。Mmm vale. [5秒間沈黙] Vale. Entonces, alguien andaba hasta algo de las plata - alguna parte de la plataforma.	「まで歩いていく」。うーん、そうか。[5秒間沈黙] はい、そうすると、誰かがプラットフォームのどこまで歩いていきます。		
96					どこを眺めていますか。
97		Ah, perdón, empiezo por el final, normalmente, aquí.	あっ、すみません。終わりのほうから始めています。普通こういふふうに話しているんです。ここです。		
98					ここですね。
99		Andar hasta alguna parte de la plataforma. Ehm, con unos pasos que son como, esto, ねる, なににな [日本語で発話する].	プラットフォームのあるところまで歩きます。えー、歩きのステップはこう、これ、「ねる、なににな」ねる。		
100		[5秒間沈黙] En resumen, creo que debe referir - es que tiene el radical este de como, No, pero no son alas. No. Me da la sensación de que va a ser tal vez algo de como estar dormido, con pasos así como. Bueno, no muy.	[5秒間沈黙] 要するに、たぶん言いたいのは、この部首があるということはい、いいえ、でも羽ではありません。違います。恐らくなにか眠っているような感じに話しているのですが、なにがそんなようなステップでこう、まあ、あまり。		
101					どんなステップですか。
102		Algo de la rutina, como esta palabra que no conozco. [「跳」を指す] Bueno, podría buscarla, mejor la busco, y me va a aclarar un poco el significado. [Lútho] [「跳」を指す] [5秒間沈黙] No encuentro esto como radical.	なにかいつもの決まった。この言葉「跳」を指すは知りません。その、辞書で引いてもいいのですが、調べたほうがよさそうです。そうすればいくら意味がはっきりするとはいえます。[Lútho] [「跳」を指す] [5秒間沈黙] これを部首としては見つけられませんでした。		
103					ここ、ここにありますが、この部首ですね。
104		Ah, sí. Ah, vale. Estaba buscando la otra mitad. [「足」を指す] Hm, y este es de siete, ocho, nueve, diez, once, doce, trece. Trece. Ah, aquí está. [「跳」の漢字が見つかり、その意味を調べる]。¡Ah! No, pero es, es con ね [日本語で発話する]。Ah, はねる [日本語で発話する]。Saltar [「はねる」のような日本語で発話する]。[dice algo pero no se entiende] ¿Con saltos?	あ、はい、あ、そうです。もう一方の半分を探していました。[「足」を指す]はっ、これは7、8、10、11、12、13画。あ、ここにありました。「跳」の漢字が見つかり、その意味を調べる。あっ、いいえ、でもこれは、「ね」と一画です。あ、「跳ねる」。跳ねる「はねる」ような。聞き取り不能に跳ねるとも？		
105					プラットフォームで跳ねた、危険ですね。
106		Si.	はい。		
107					でも他にどこにありますか。
108		Ah, [「跳ねる」のほかの語義を調べる] to jump, to leap, to prance [英語で発話する]。vale. To break up, to close, to come to an end [英語で発話する]。y To hit [英語で発話する].	あ、「跳ねる」のほかの語義を調べる。to jump, to leap, to prance [英語で発話する] わかりました。To break up, to close, to come to an end [英語で発話する]。そして To hit [英語で発話する].		
109		はねるような [日本語で発話する]。Con pasos. Uf. Esta - Vale. Es que como hay varias palabras que no conozco, es un poco. Vale, otra cosa que heidi a a veces cuando lo tengo escrito y no puedo.	「跳ねるような」ステップで、うっふ [ため息]。これは、はい、いろいろな知らない言葉があるんで、うっふ。はい、わかりました。時々やっていたことなんです。漢字はあってもわからないというか。		
110					何をしますか。
111		Utilizo la aplicación Jet, por ejemplo, que es una que tengo, pero la cosa es que aquí hay dos kanjis que no conozco juntos pero que si los conozco por separado.	「Jet」のアプリを使います。たとえば、一つの漢字に問題があって、というのは二つの漢字からなる漢字で一つ一つの漢字は分かるのですが、一緒になって一つの漢字語としてはわからないという場合です。		
112		Entonces, en vez de buscar por radical, voy a escribir [日本語で発話する] y es como [日本語で発話する]。¿no? [日本語で発話する]。Y, con el teclado japonés y así puedo buscarlos juntos. Si, es forma de hablar. Ah, sí [日本語で発話する]。Forma de hablar. Ay, forma de, andar, andar. Ya no sé qué digo. [笑う]	それで、部首から探すのではなく、「足」と書きま、それから「取る」です。よわ「取る」と日本語で入力します。そうすると一緒に探すことができます。はい、話し方です。「足取り」。話し方。あっ、や、り、方、多く、自分何を書いているのかわからなくなってきた。[笑う]		
113		Vale, entonces, sí, no. No me ha aclarado nada porque es lo que pensaba, con una forma de andar parecida a saltos. ホームのまで [日本語で発話する]。[5秒間沈黙] Esta frase no la entiendo mucho.	そうか、それで、はい、いいえ、跳ぶような歩み方で考えたのですが、結局わからなくなりました。「ホーム」まで。[5秒間沈黙] この文はよくわかりません。		
114					わかりませんか。
115		No, bueno es que me faltan unas palabras que.	はい、そのいくつかの言葉がわからないままで。		
116					どの言葉を探しますか。
117		Iba a empezar por.	このへんから始めたのですが。		
118					あ、口のどこですか。
119		Si, por el de la b - ay! Lo tengo aquí. Voy a empezar por esta [「口笛」を指す] y esta [「吹」を指す]。Porque creo que es importante porque es, mientras hago esto. Y está claro que no es lo que yo pensaba, porque si no tiene sentido.	はい、口のどこからで、あっ、ここです。これ「口笛」を指すとこれ「吹」を指すの所から始めます。でもななな重音はとうからで、これをしている間に、私が考えていたことではないということがはっきりしました。なぜなら音が通らないからです。		
120		Y luego, ei hace falta, esta [「端」を指す] Ehm, empiezo por ejemplo por la de la boca. Bueno, la de la boca, tiene el kanji de boca. [5秒間沈黙] Y en este diccionario salen.	そのあと、もし必要であれば、この「端」を指す。えー、口の言葉のところから始めます。その、口の漢字が、口の漢字が含まれていて、[5秒間沈黙] この辞書では。		
121					あ、口がつ言葉ですね。

122		Si. Entonces, me fijo en el segundo kanji y voy bajando, a veces hay más suerte y a veces hay menos suerte, a la hora de encontrarlo.	はい、それで、2番目の漢字に注目して、それから下の方に、見つかるのは、時には運がよかったり、悪かったりなんです。	
123				見るのが早いですですね。
124		Ah, este. ¿no? Aah! "Whistle[英語で発話する]" Vale, aah! Vale. [4秒間沈黙] Entonces, ella corría hacia la estación porque oía el silbato, bueno corría hacia las puertas o, bueno, puertas.	あ、これですか。あー、Whistle[英語で発話する]。そうか、あー、そうか。[4秒間沈黙] そうすると、彼女は笛を聞いたので駅のほうへ走り出しました。というカードの方にあります。はい、トアです。	
125		Hasta el tren, supongo. Porque oía el silbato del tren, tal vez, y entonces por eso hacia como pasos muy grandes, para llegar.	電車まで、ということだと思います。なぜなら恐らく電車の笛を聞いたからで、それで間に合うように大股で行きました。	
126				うーん。
127		¿Puede ser?	ありえますか。	
128				えー、そうですね。そうすると、ここからここまでですね。大体話は通りませぬ。要約すると？
129		Bueno, describe las mañanas. ¿no? Describe que la mañana- que por las mañanas la daba- no le gustaba mucho levantarse pero bueno, como hace buen tiempo y es verano, pues está bien.	その、朝の描写ですね？朝の描写で、朝は彼女にとって、起きるのがあまり好きではなくて、でもまあ、いい天気なので、そして夏なので、まあいいということですよ。	
130		Y luego dice, pasa a hablar del tren, que coge por las mañanas, supongo. ¿ah no? No, ay qué tortu. No, perdón. [笑う] Ella no coge el tren, no. Ella trabaja en el andén.	その後言っているのは、朝乗る電車について話している、と推測します。あー、違う、そうではなくて、うっかりしてました。すみません。[笑う]彼女は電車に乗りません。彼女はホームで働いています。	
131				あ、それは覚えていましたね。[笑う]
132		Si me acordaba pero asumía que tenía que coger un tren para ir a trabajar.	はい、覚えていたのですが、仕事に行くのに電車に乗らなければならないと思い込みました。	
133				あ、仕事に行くのに。
134		Pero no, no tiene porqué. Trabaja en el mismo andén de al lado de su casa, supongo. Vale, y entonces no hay mucha gente esperando el tren en el andén donde ella trabaja.	でも違いますね。その必要はありません。推測するに家のすぐそばのプラットフォームで働いています。はい、それで、彼女が働いているホームでは電車を待っている人はあまりいません。	
135		Y, mientras ella toca el silbato, ¿puede ser? Las personas caminan muy rápido, por- bueno, muy rápido, con pasos grandes. ¿Puede ser? O incluso dándose golpes, porque es por la mañana y se van al trabajo.	そして、彼女が口笛を吹く間、可能ですが、人々は急いで歩いて、そしてまあ、とても早く、大股で、ありえますか。あるいは「外夕と暮を立ったりまでもして、なぜなら朝ですし、働きに行くのですから。	
136				あー。
137		¿Puede ser?	違いますか。	
138				大体この辺までは理解できたようですが、部分的に、ここに「おばさん」がありますよね。
139		Si. Entiendo que es como,	はい、それはその。	
140				このおばさんは何をしますか。
141		Entiendo que es su せんぱい [日本語で発話する] del trabajo, bueno, su jefa, no sé exactamente, pero- o una compañera que, que quiere ya retirarse y Chizu la va a como sustituir, entonces le enseña como se tienen que hacer las cosas y quiere que Chizu aprenda rápido.	私の理解では、彼女の「先輩」で、上司であり、正確にはわかりませんが、同僚の一人で、引退したいと望んでいて、知寿はその人の代わりに入る。それでいろいろ仕事を教えて早く覚えて欲しいと思っています。	
142		Pero no para de hablarle en todo el día de, bueno, de cosas como haciéndole preguntas de su vida, o de por qué hace esto o de donde vive y tal, pero Chizu no quiere hablar de eso y prefiere aprender rápidamente el trabajo.	でも一日中おしゃべりばかりをして、その、個人的な生活のことなど、たとえばどうしてこの仕事をするのかとか、どこに住んでいるのかとかそういったことを聞いてくるが、知寿はそれ聞いたことは話したくなくて、むしろ早く仕事を覚えたいかった。	
143				おばさん、ここではおばさんと言っています。どうしてあなたは先輩と考えましたが、このおばさんはとか、教えてくれるおばさんはとか、おばさんで、彼女のおばさんではありませんよね。
144		No. No, porque ella,	いいえ、いいえ、なぜなら彼女は、	
145				でもこのおばさんは、教えてくれるおばさんは、
146		Pero su tía es おばあさん [日本語で発話する]?	でももし彼女のおばさんなら「おばあさん」?	
147				知寿[主人公]? あ、知寿じゃない、吟子[主人公の次女]? 吟子はおばさん。
148		おばさん [日本語で発話する].	「おばさん」。	
149				彼女は「おばさん」と言いましたね。
150		Si.	はい。	
151				吟子のことですか。
152		Si, pero aquí no tiene mucho sentido. ¿no?	はい、でもここでは話が通じませんよね?	
153				もしかしたら他の人のこと。
154		Si.	はい。	
155				あなたの言うように先輩かも知れませんね。
156		Hm. Lo de せんぱい [日本語で発話する] es porque como dice que la enseña, pues supongo que es su せんぱい [日本語で発話する]. Pero, o su jefa o,	うーん、「先輩」というのは教えるからで、だから「先輩」と推測します。あるいは上司かなにか。	
157				そんな感じで、教えてくれる人。
158		Si. Y おばさん [日本語で発話する], bueno, señora. Bueno, lo había entendido como una señora.	はい、そして「おばさん」、まあ、女の人の。	
159				はい、そうですね。大体ここで書いていることですね。
160		Espero. Hay algunos kanjis, pero bueno.	そうだとはいのですが、漢字がいくつか、でもまあ。	